

信濃小中学校 義務教育学校 公開研究会 10月18日(木) に開催しました。

主催：信濃小中学校 協賛：信州しなの町観光協会

後援：長野県教育委員会 信濃町教育委員会 長野上水内校長会

北海道、三重、福島、新潟、兵庫、山梨、栃木、静岡、東京、埼玉、京都、岐阜、大阪、茨城、香川、長野 等
176名の方(教員、教育委員会、大学教授、学生等)や、本校保護者、地域の方等、総勢 約300名による全国公開研究会を開催しました。19日(金)には、県外参加者による信濃町修学旅行体験ツアーが実施されました。

各分科会の先生方からのご意見

音楽分科会・音楽集会

- ・カリキュラム表に音楽的要素を含んでいるところがよかった。9年間の系統的な流れを感じることができる。
- ・反復とリズムなどの構成を理解し、全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくる能力を育てていくことが大切であると感じた。
- ・全校音楽集会については、音楽科教員と全校の職員が児童生徒と共に創りあげていく。職員も歌うことで学び、集う場であること学ばせていただいた。



特別支援教育分科会

- ・生活単元学習では、スタートは大変だけれども、同じ活動について対象を変えて活動できるよさがある。体験が大事であり、まず自分が楽しむこと。こうしたい、ああしたいという願いや思いを児童生徒と共有していくことが大切である。
- ・子どもの願いや思いが、お客さんにとってどうか、他者に向けた思いやりが商品の形となってあらわれてくる。



国語分科会

- ・目標、学習内容、評価があって、カリキュラムとなっている。見方・考え方をどのようにして他の教科につなげていくのか。書くことの力は、他教科にとっても大切な力となる。
- ・書くことについてのカリキュラムをつくっているのだけれども、聞くこと、話すことなどの分野のことも考えながら創りあげていくことができると感じた。



体育・保健体育分科会

- ・信州型コミュニティースクールとして、カリキュラムは地域の願い、学校長の願いがあって、体育・保健体育ではどうするのか考えていきたい。職員が変わってもつくり続けていくことができるようにしたい。単なる単元の系統表ではなくなってくる。
- ・書くことは低学年ではハードルがあるかもしれないが、書くことを指導し続けていくこと。学習カードを教員が見ていくことで、児童生徒のメタ認知になる。

図画工作・美術分科会

- ・小2の型紙を並べながら、色々な模様を作っていく。型紙を組み合わせて、具体的なイメージ「○○みたいだね」という子ども同士や教師との対話で、造形的な見方・考え方が養っていく。それが中2につながっていく。
- ・カリキュラムでは子どもの実態に合わせて、発想・構想の能力に焦点を当てて、カリキュラムを作成してきたことは大変参考になる。



家庭、技術・家庭分科会

- ・土の選択については、事前の学習を生かして、根拠をもって選ぶ姿が見られてよかった。
- ・技術科の生物育成のカリキュラムは、1～6年生の生物育成の経験を考慮し、それに関わって作成していくことが大切。
- ・家庭科については、地域の実情に根ざしている感じがする。子どもの実態に合わせてつくり続けていきたい。



社会分科会

- ・問いを連続して、カリキュラム表に入れてみるとよいと思った。この単元では子どもの意識や思考の流れはこのようになっているから、このような問いの連続性があるなど、授業に生かしていくことができるようなカリキュラムも考えたい。
- ・信濃小中を参考にしながら、3つの資質能力について、公民としてはどうか、学習指導要領の解説等を読み込んでカリキュラムを作成していきたい。

算数・数学分科会

- ・カリキュラム系統表から、全国学力状況調査から課題や実態に応じて、信濃町の気温の同じデータを扱い、度数分布表やヒストグラムを作成していく授業は提案性があった。
- ・特に既習の内容を積み上げていく算数・数学では、個々の先生方より、教科内で統一していくこと、小学校低学年段階から系統だった指導を積み上げていくことが特に大切。

外国語活動・英語分科会

- ・日常の授業を参観できたことがよかったです。意欲的にかかわりあおうとするコミュニケーションは毎日の簡単なクイズとゲームからだと思いました。
- ・学級担任の先生が、英語を使っていく。ALT が話す英語をよく聞き慣れ親しんでいくことと同時に、学級の仲間とコミュニケーションをとっていききっかけにもなると思います。

理科分科会

- ・授業を結果と考察場面を大事にしていく。結果と考察を分けていく指導。そのためには学習問題から学習課題、観察実験方法までをできるだけコンパクトにしていく。
- ・ホワイトボードをクリアーフォルダーにしてみると、ワークシートをそのまま利用していくことができる。地層や動物の分類をしていくのがよい。

学校運営分科会

- ・職員会、学年会のもち方について
- ・人員配置について
- ・信濃小中での職員研修や、職員が学んだことの他学校での役割や発信について 他多数

